

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年12月25日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年12月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【2号機タービン建屋における協力企業作業員の負傷について】 協力企業作業員が、2号機タービン建屋2階でケーブル布設作業に向けた準備作業中に体の向きを変えようとした際、バランスを崩し、足首を捻り負傷。 救急医療室にて、治療を受けた後、帰宅。翌日、病院にて、「右足関節損傷、右足関節外果骨折」、全治3か月と診断された。	G II	12月22日
2	【工具管理センターの貸出計測器の定期校正における不具合について】 工具管理センターで管理業務を行なっている協力企業作業員が、貸出し用計測器の定期校正を実施した結果、テンションメータ※の1台に測定指示値のばらつき、画面非表示の不具合を確認。 貸出し先の企業に確認したところ、機器の参考測定に使用したもので、検査での使用はなかった。 ※テンションメータ：ワイヤーロープ、電線、ベルト等の張力を測定する計測器	G III	12月23日